

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 7 月 13 日 (2023.7.13)

【公開番号】 特開 2022-15374 (P2022-15374A)
【公開日】 令和 4 年 1 月 21 日 (2022.1.21)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-011
【出願番号】 特願 2020-118155 (P2020-118155)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 7 月 5 日 (2023.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
前記表示手段の表示領域の左側に特定キャラクタを配置し実行される特定キャラクタ演
出を実行可能であり、
前記特定キャラクタ演出は、第 1 特定キャラクタ演出と、第 2 特定キャラクタ演出と、
を含み、
前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利
状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御さ
れる旨が報知される第 1 エピローグパートとを含んで構成され、
前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有
利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御
されない旨が報知される第 2 エピローグパートとを含んで構成され、
前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出における導入
パートと、前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出に
おける導入パートと、は、共通であり、
前記発光制御手段は、
導入パートにおいて、導入パートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
第 2 エピローグパートにおいて、第 2 エピローグパートに対応する輝度データテーブ
ルを用いて前記発光手段を制御し、
第 2 エピローグパートに対応する輝度データテーブルにおいて最初に用いられる輝度デ
ータは、導入パートに対応する輝度データテーブルにおいて最後に用いられる輝度デ

10

20

30

40

50

よりも輝度が低く設定され、

導入パートに対応する輝度データテーブルにおいて最後に用いられる輝度データを用いて前記発光手段が制御されることにより、該発光手段が第1輝度で発光し、

第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルにおいて最初に用いられる輝度データを用いて前記発光手段が制御されることにより、該発光手段が前記第1輝度よりも低い輝度の第2輝度で発光する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

複数の発光手段と、

前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、

前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

前記表示手段の表示領域の左側に特定キャラクタを配置し実行される特定キャラクタ演出を実行可能であり、

前記特定キャラクタ演出は、第1特定キャラクタ演出と、第2特定キャラクタ演出と、を含み、

前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、

前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御される旨が報知される第1エピソードパートとを含んで構成され、

前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、前記有利状態に制御されない旨が報知される第2エピソードパートとを含んで構成され、

前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される報知演出における導入パートと、前記有利状態に制御されない旨が決定されているときに実行される報知演出における導入パートと、は、共通であり、

前記発光制御手段は、

導入パートにおいて、導入パートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

第2エピソードパートにおいて、第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、

第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルにおいて最初に用いられる輝度データは、導入パートに対応する輝度データテーブルにおいて最後に用いられる輝度データよりも輝度が低く設定され、

導入パートに対応する輝度データテーブルにおいて最後に用いられる輝度データを用いて前記発光手段が制御されることにより、該発光手段が第1輝度で発光し、

第2エピソードパートに対応する輝度データテーブルにおいて最初に用いられる輝度データを用いて前記発光手段が制御されることにより、該発光手段が前記第1輝度よりも低い輝度の第2輝度で発光する、

ことを特徴としている。

10

20

30

40

50